

## DIY プラン規約

### コンピュータ・ソフトウェア関連発明、ビジネスモデル発明

2025/1/1

弁理士法人パテントボックス

D I Yプラン（10万円）は、基本的に特許申請に必要な書類をお客様に作成いただくことで、出願時の手数料を削減するプランです。

このため、お客様で作成頂いた初回原稿（少なくとも特許明細書及び図面相当）をまず弊所にお送り頂き、D I Yプランでお受けさせて頂けるかどうかを確認させて頂いております。なお、特許明細書のご経験が全くない方などでD I Yプランにてお客様側による原稿書類の作成・進行が難しいと判断させて頂いた場合やD I Yプランで想定する原稿量を超える場合などは、D I Yプランを適用することはできませんので、ご了承のほど宜しくお願いいたします。

### DIY プラン条件（コンピュータ・ソフトウェア関連発明、ビジネスモデル発明の場合）：

- ・小規模企業（法人・個人事業主）、中小スタートアップ企業（法人・個人事業主）等
- ・D I Yプランにてお客様側による原稿書類の作成・進行が可能と判断させて頂いたお客様

・D I Yプランの原稿は、明細書6頁、請求項5項、要約書、図面5コ以内を目安としておりますが、一般に、ソフトウェア関連発明、ビジネスモデル発明等の場合は、ほとんどのケースで目安を超え記載ページが多くなること、分野難易度が高いことから、一律発明分野加算¥50,000（税別）を別途お申し受けます。

・ご依頼後、1週間以内に着手金（10万円又は出願時費用全額）をお振込み可能な方。なお、お振込み頂いた着手金は、手続き完了後に、ご請求書金額から着手金を差し引きます（清算）。

### D I Yプランの特許出願までの流れ：

ステップ1：お問合せ

ステップ2：お客様→弊所へお客様で作成頂いた初回原稿（少なくとも特許明細書（ワード等）及び図面相当の原稿データ）の送付

ステップ3：弊所→お客様へD I Yプラン可否確認のご連絡

ステップ4：お客様→弊所へ記入済みの依頼書をメールにて送付

ステップ5：お客様→弊所へ着手金のお振込み

ステップ6：弊所側にて原稿のチェック・校正作業、及び、お客様側にて原稿修正作業（2往復以内、2週間程度を想定）

ステップ7：弊所側にて特許庁への特出願手続き

ステップ8：弊所→お客様へ完了報告及び請求書の送付

ステップ9：お支払いは、請求書金額から着手金を差し引いた金額をお振込み下さい。

(1) 出願～(4) 登録までの概算費用のご案内：

(DIY プラン・コンピュータ・ソフトウェア関連発明、ビジネスモデル発明)

(1) 出願時

|               |               |
|---------------|---------------|
| 基本出願手数料 (DIY) | ¥100,000 (税別) |
| 発明分野加算        | ¥50,000 (税別)  |
| 特許印紙代         | ¥14,000 (非課税) |

(2) 審査請求時

|         |                          |
|---------|--------------------------|
| 審査請求手数料 | ¥0 (出願と同時に審査請求する場合は無料)   |
| 審査請求印紙代 | 約¥60,000 (非課税・1/3 減免適用後) |
| 減免申請手数料 | ¥5,000 (税別)              |

※審査請求手数料は、出願と同時に審査請求しない場合は、審査請求手数料¥15,000 (税別) を別途申し受けます。

※上記審査請求印紙代は、減免適用後の費用です。基本的に小規模企業 (法人・個人事業主)、中小スタートアップ企業などは 1/3 減免対象となります。単なる個人は対象となっていない。

詳細はこちら <https://www.ipa.go.jp/system/process/tesuryo/genmen/genmensochi.html>

※早期審査を希望される場合は、早期審査手数料¥20,000 (税別) を別途お申し受けます。

(3) 拒絶理由通知時

|                  |               |
|------------------|---------------|
| 中間対応費用 (補正書・意見書) | ¥100,000 (税別) |
|------------------|---------------|

※拒絶理由通知が通知されない場合はかかりません (一発登録の場合など)。拒絶理由通知は 1 回のケースが多いですが、ケースによっては 2 回発生する場合があります。

(4) 登録時費用

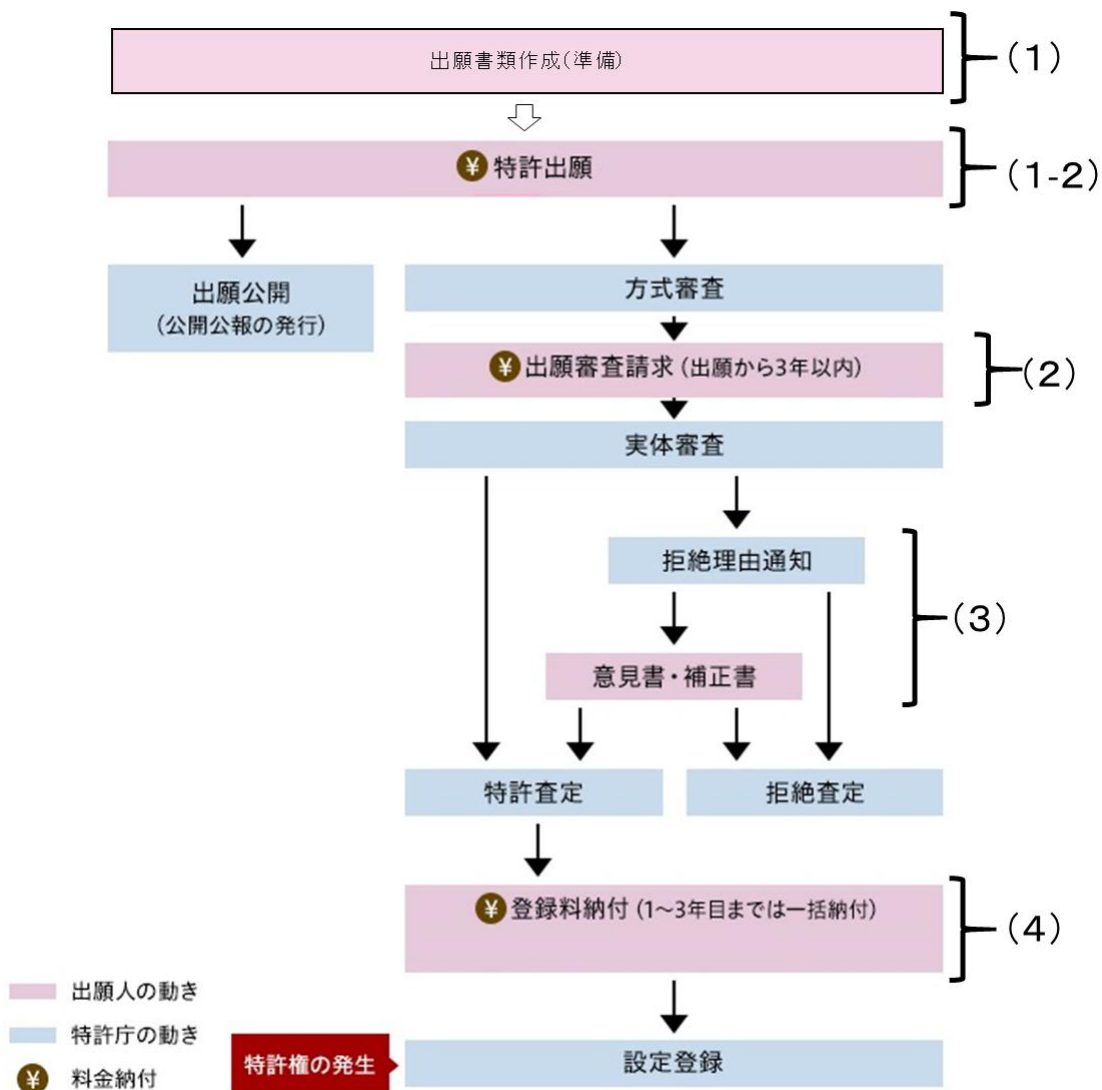
|              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 登録納付手数料+成功報酬 | ¥90,000 (税別)            |
| 設定登録印紙代      | 約¥5,000 (非課税・1/3 減免適用後) |
| 減免申請手数料      | ¥5,000 (税別)             |

※特許査定が通知されない場合はかかりません (登録にならなかった場合など)。

※ご請求時期は、各手続き完了毎になります。

2025.1.1 改定

参考：特許出願～登録までの流れ



- (1) 出願書類を作成します。
- (1 - 2) 特許庁に出願書類を特許庁に申請します。
- (2) 特許庁に出願審査請求の手続きを行います。出願審査請求は、出願日から3年以内に行うことができます。
- (3) 審査の結果、特許にできない場合に、「拒絶理由通知書」が通知されます。あわせて出願人には補正（修正）の機会が与えられます。「拒絶理由通知書」を受けて補正する場合、特許庁に「意見書・補正書」を提出します。
- (4) 「特許査定」が通知された場合、登録料納付の手続きを行います。特許登録番号が付与され、特許権が発生します。

初めてだったらここを読む～特許出願のいろは～

<https://www.jpo.go.jp/system/basic/patent/index.html>